

内視鏡的逆行性膵胆管造影(ERCP)、内視鏡的乳頭括約筋切開術(EST)を受けられる()さんへ 入院中のスケジュールです

説明日(/) 説明者() STP0200190(部分)					
月日(日時)	/	/	/	/	/
経過(病日等)	治療前日(入院日)	治療当日(前)	治療当日(後)	治療後1日目	治療後2日目
達成目標	◇検査の流れが理解できる	◇38度以上の発熱がない ◇貧血の症状(ふらつき・動悸・立ちくらみ)がない		◇腹部症状なく食事摂取できる	
検査	採血、検尿、心電図、レントゲンの検査があります。 ※患者さんによってはない場合もあります 	治療の順番までお部屋でお待ち下さい。 ※急患の対応等により、順番が前後することがあります。 治療は胃カメラを飲んで行います。 治療室へはストレッチャーで行きます。 (消化器病センター外来横の透視室)	治療が終了して2時間後に採血を実施します。 	朝、採血を実施します。 	
内服	飲んでいるお薬の確認をしま 	医師が指示したお薬を朝6時に内服します (内服自己管理の方:内服しないお薬は看護師が全てお預かり致します。)	水分開始になったら看護師の説明のもと内服薬も服用してください。		
注射		点滴の針を右手に挿入します。 500mlの点滴が4本あり、治療前から点滴を開始します。 	治療後もしばらく点滴があります。 治療後に抗生剤の点滴があります。	抗生剤の点滴と500mlの点滴がそれぞれ1本ずつあります。 点滴終了後、点滴の針を抜きます 	
処置		検査着に着替えます。			
活動・安静度	安静制限はありません。 	なるべく安静にして下さい。 トイレなどは歩いても構いません。	ベッド上安静です。 2時間後の採血の結果にて、洗面所・トイレまで歩けるようになります。	採血の結果次第で 病棟内は自由に移動できます。	
安全	転倒転落の危険度の評価を行います。 スリッパではなく運動靴の使用をお願いします。 ナースコールとベッド柵を設置します。		鎮静剤の影響で転倒しやすくなります。初回歩行は看護師付き添いの元、ふらつきがないか確認します。	発熱・疼痛などの症状の際は、転倒しやすいので気をつけましょう。	
栄養	21時以降は 飲んだり食べたりできません。	絶飲食です。	絶食です。 採血の結果次第で水が飲めます。	朝は絶食です。 採血の結果で昼食から全粥が食べられます。	治療前の食事のメニューに戻ります。
清潔	入浴できます。 		入浴・シャワー浴はできません。	清拭またはシャワー浴ができます。 	入浴できます。 
排泄		治療に行く前にトイレを済ませて下さい。	安静が取れるまではベッド上排泄です。 安静解除後トイレまで行けます。		
患者様及びご家族への説明 生活指導 リハビリ 栄養指導 服薬指導	担当医が入院診療計画書の説明を行います。 看護師が病棟設備や検査について説明を行います。 薬剤師によるお薬の確認があります。 何か、ご不明な点がありましたらお尋ね下さい。	治療に行く前に、義歯や貴金属(時計、指輪、ネックレス、眼鏡)等を外して下さい。また化粧やマニキュアも落として下さい。	★鎮静剤を使用するので、治療後目が覚めたらナースコールを押してください。★お腹の痛み、吐き気、気分が悪い時はお知らせ下さい。血を吐いたり、赤い便・黒い便が出たときはお知らせ下さい。 ★採血結果で看護師より安静や水分摂取についての説明があります。	主治医から説明があります	

注1 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査などを進めていくに従って変わることがあります。

注2 入院期間については現時点で予想される期間です。

久留米大学病院 消化器内科 東棟10階病棟

2023年8月改訂